



出前講座の様子

答

新たなごみの減量に向けた施策の円滑な実施には、市民のじゅうぶんな理解と協力が不可欠であるため、広報紙などの周知に加え、動画配信やパネル展示、ちらし配布なども行っている。

出前講座については、自治会単位でごみ問題について話し合うことが最も有効であるとの認識から、連合自治会などの役員会で出前講座の案内を行っており、また、公民館でも利用者などに案内してもらおうよう協力を依頼している。ガイドブックについては、令和5年2月広報の配付時に保存版家庭ごみ分別ガイドブックを全戸配付する予定であり、令和2年度に導入したスマートフォンアプリ「さんあくる」を含め、有効に活用していただきたいと考えている。

違法ごみへの対応は？

問

粗大ごみの戸別収集により便利になる一方で、有料化による不法投棄の増加が心配される。対策として、危険な道路などの状況を市民がLINEで通報する西条市道路・公園等異常通報システムを参考にした、不法投棄通報システムを構築する考えはないのか。

また、ルール違反により収集されずごみステーションに残ったごみや市道の枯れ葉などを片づけるため、自治会が指定ごみ袋を使用することから、自治会へ指定ごみ袋を無料配付する考えはないのか。

答

不法投棄通報システムの導入により、監視強化、情報蓄積などが可能となり、早期発見による拡大防止効果も見込まれるが、本来は不法投棄された土地の所有者又は管理者の責任で処理し、再発防止策を講じる必要がある。併せて、不法投棄行為者の特定は警察などの関係機関との連携が必要であるため、システムの導入、特にその運



用については、先進事例を参考に慎重に検討したい。

また、違反ごみなどで自治会などが苦勞されていることは承知しており、来年度以降も、自治会などへは一定数無料指定ごみ袋を配る方向で検討している。

混雑対策は？

道前クリーンセンター

問

粗大ごみ処理券の有効期限が令和5年3月末であるため、処理券を使い切ろうと、3月には道前クリーンセンターへの粗大ごみの搬入が増え、道路の混雑が予想される。対策を講じておく必要があると思うが、市はどのように考えているのか。

答

有料化前に粗大ごみ処理券を使い切るため、ごみステーションへの排出や道前クリーンセンターへの直接搬入をするかたが一定数いると思われることから、年度末にかけて例年以上に混雑することを想定している。

対策として、現在短縮している搬入時間を令和5年1月末から午前中30分間延長することとしている。

また、直接搬入する際のごみの重量に応じた手数料は、指定ごみ袋有料化後も変更しないことを広報紙などで周知し、搬入の分散化を図りたい。加えて、現場では場内の誘導整理を適切に行うことで混雑の緩和を図り、敷地外に順番待ちの車が出ないよう交通安全にも努めたい。



年度末に道路の混雑が予想される

西条みらい
クラブ

真鍋 頭 伸 議員



(一般質問)
1 森林環境譲与税を原資とする森林整備基金について

基金の有効活用を！

問

令和6年度から国税として森林環境税が創設され、市への譲与税の増額が見込まれる。本市には譲与税を原資とした西条市森林整備基金があるが、当該基金の残高及び今後の譲与額をどの程度と見込んでいるのか。

また、基金を活用した森林整備の実施状況と計画はどうなっているのか。

更に、国土調査へ活用するよう要望する考えはないのか。